

※以下の小論文問題は、公開用に加工されたものであり、試験当日に配布された問題のレイアウトとは異なります。また、著作権等に配慮し、問題文を省略しています。

小論文問題

次ページ以降の文章は、「同性間の婚姻を法的に認めるべきか」という問いに答えるための争点について論じたものである。これを読んだうえで、以下の設問1～3に答えなさい。答えは解答用紙に記入すること。

設問1 【下線1a】の国家の中立性と【下線1b】の婚姻の「私事化」という2つの観念を主張するリバタリアニズムの思想に基づくと、「同性間の婚姻を法的に認めるべきか」という問いに対して、リバタリアンはどのような結論に至るか、本文の内容に即して 300 字以内で答えなさい。

設問2 【下線2】について、様々な婚姻の形態とはどのようなものか、本文の内容に即して 100 字以内で答えなさい。

設問3 【下線3】について、同性婚が果たす社会制度の目的とは何か、本文の内容を踏まえあなたの考えを 150 字以内で述べなさい。

解答は必ず解答用紙に記入すること。

次ページ以降の問題文は著作権の都合上、省略

問題文出典：

土井崇弘(2016)「同性間の婚姻を法的に認めるべきか？」瀧川裕英編、『問いかける法哲学』、法律文化社、117-130 頁。

(なお出題にあたって、問題文に変更を加えている箇所がある。)

問題は以上です